

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	放課後子ども教室事業						担当部	こども未来部		
	会計区分	一般会計						担当課	こども政策課		
	事業期間	平成26年度以前				～	平成30年度まで		担当係	青少年育成係	
	基本施策・展開方向	3 教育・子育て		13 子育て支援		4 健全な青少年を地域で育てます					
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	4	中	2
	根拠法令・個別計画	放課後子どもプラン、第3次小牧市生涯学習推進計画									
	目的	何・誰を対象に	市民、小学生、小学校地域コーディネーター、安全管理指導員								
		どのような状態にするのか	地域住民の協力を得て、小学校施設を活用し、放課後のこどもたちに様々な、学習・体験・交流活動を提供する。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆28年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各小学校に地域コーディネーター、安全管理指導員を配置し、学校、地域との連携をとりながら放課後の事業を実施する。(H20年度から始まった事業:国・県各1/3の補助事業)</li> <li>開催回数 331回、参加児童数 513人、学校地域コーディネーター 25人、安全管理指導員 122人</li> <li>学校地域コーディネーター活動実績 672回(16校のコーディネーターの活動に伴う謝礼 1回3,000円)</li> <li>安全管理指導員活動実績 6,181.5時間(16校の安全管理指導員の活動に伴う謝礼 1時間1,000円)</li> <li>本庄小学校児童クラブ室を利用し、同校区内の児童が参加する土曜日の教育活動「わくわく土曜クラブ」を実施した。地域住民を講師に迎えての体験講座20講座に、のべ731人の児童が参加した。(保険加入は105人、木曜日の放課後子ども教室参加者含)</li> </ul> <p>職員は下記の事務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教室毎に参加者保護者説明会を開催し、事業概要や注意事項等の説明を行った。</li> <li>各教室を年2回程度巡回し、教室の運営方法の把握や指導員からの情報収集を行った。</li> <li>円滑な教室運営のため、研修会2回及び推進会議の計3回を開催した。</li> </ul> <p>◆28年度直接経費の内訳(支出ベース)</p> <p>学校地域コーディネーター謝礼等(8,322千円)          消耗品費等(365千円)          その他、参加児童保険料等(791千円)</p> <p>◆29年度直接経費の内訳(予算ベース)</p> <p>学校地域コーディネーター謝礼等(13,398千円)          消耗品費等(584千円)          その他、参加児童保険料等(1,041千円)</p>									
	受益者負担	有 保険料、材料費									

			単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	8,578	8,902	9,478
正職員			従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,814	2,814	2,814	2,814
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	11,392	11,716	12,292	17,837		
対前年比		%		102.8	104.9	145.1		
財源	一般財源		千円	6,754	6,544	6,656	12,646	
	国・県支出金		千円	4,232	4,737	5,142	4,743	
	その他財源		千円	406	435	494	448	

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	学校地域コーディネーター	人	目標		16	16	16
実績				24	26	25	
安全管理指導員数	人	目標		64	64	64	64
		実績		122	122	122	
績	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	実施小学校数	校	目標		16	16	16
実績				16	16	16	
放課後子ども教室参加児童数	人	目標		480	480	480	480
		実績		426	444	513	
放課後子ども教室年間実施回数	回	目標		300	300	300	300
		実績		317	296	331	
放課後子ども教室外部講師による講座数	回	目標		128	128	128	128
		実績		23	26	25	

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	学校地域コーディネーター、安全管理指導員数は目標達成しており、安定している。参加する児童数も、各学校でプログラムの工夫が行われており、増加している。外部講師を招いての講座は、各校の独自プログラムが安定して実施しているため、講座開催は、全校合わせて25回に留まっている。					
		事業実施における課題	参加する児童数が増えているが、地域住民によるボランティアでの運営のため、週1回の開催と各校定員30人程度が精一杯の現状である。指導員の確保や、特別に配慮が必要な児童への対応など、学校の協力が不可欠である。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	各教室において、特色ある活動が実施されており、指導員への支援は継続して実施する。また、特別に配慮が必要な児童の受け入れもあり、青少年育成指導員の巡回を行うことで、児童を落ち着いて受け入れる体制づくりに努めていく。一色小学校で行われている算数教室を見本に、学習支援の活動を採り入れていけるよう、推進協議会の場で話し合いを進めていく。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
削減額・削減対象		事務事業評価による額	96	千円	予算区分	8	節	節
判定理由・削減内容		成果指標での放課後子ども教室参加児童数は伸びてきている。しかし、各学校でのプログラムにおいて、講師を招いての開催は下回っている。29年度予算額(8節報償費、1細節424千円)から96千円削減を図る。						
	30年度以降の実施内容	放課後こども総合プランに向けて、モデル地区を選定と、事業化に必要な経費等を策定し、実施計画を作成する。地区の放課後子ども教室とクラブとの意見交換を行い、意見を集約と、現状課題を洗い出ししていく。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。